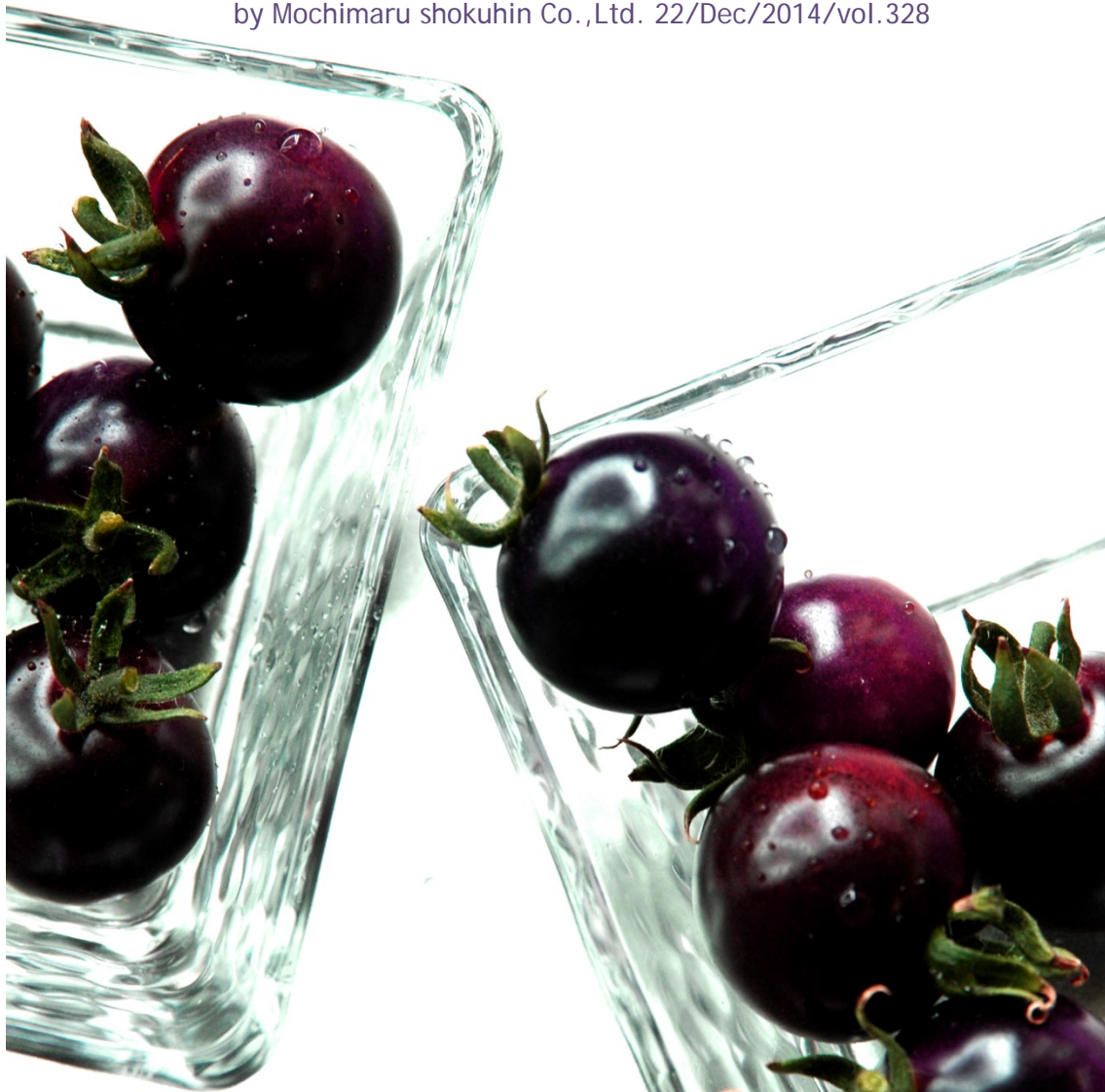


# CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 22/Dec/2014/vol.328



## アントシアニーノ・ミニトマト（試験販売）カワムラ農園（静岡県）

今までも様々なパープルトマト、ブラックトマトを販売してまいりましたが、赤色がくすんだような色、あるいは赤茶色の物がほとんどでした。しかし今回のカワムラ農園の「アントシアニーノ」は、まるで1粒が光沢のある濃い紫色で巨峰の粒のような大きさのミニトマト、深い紫色は日の光にキラキラと光り何とも美しい印象を与えるトマトです。黒系のトマトとしては今までの中で一番紫色が濃く綺麗に出ていて抗酸化作用でお馴染みのアントシアニン系色素が豊富だということを感じさせます。「薬膳トマト」という触れ込みで、様々なイタリア系トマトを栽培している静岡のカワムラ農園は、そんな健康にも焦点を当てて作物を栽培しています。カラフルなトマトには、それぞれその色素から理解できるように実に色々な栄養成分がものによっては濃く含まれています。どれも人の体に良い働きをすることから、美容と健康のアピールとして「薬膳」とつけられているようです。もともとトマトはトマトジュースとして多くの人々に飲まれています。美肌やダイエット、血圧低下、血中の中性脂肪低下などの効果などがうたわれていますが、なんといっても様々な可愛らしく美しい姿には、人々の興味を引くに十分な魅力を秘めています。美しい濃い紫色のトマトがお皿の上を飾るとき、それはまた今までに無い少し大人の薫りでシックな雰囲気をも醸し出し、さりげなく魅力を振りまくに違いありません。